第８期 診療所を中核とした地域医療経営人材育成プログラム　授業計画

授業科目名	医療機関事業承継	担当者	足達 正和、増田 裕介、石川 敦士	実施月	７月～9 月

■講義目的

診療所を運営する医師の事業承継を中心として実践的な問題を取り上げます。親族承継、他人承継の両面から、地域の「かかりつけ医」が果たす役割を都市部と地方の実情に合った形で考察します。

■教科書＜著者『タイトル』出版社、出版年＞

独自テキストをメインに使用します。

■各回の授業内容

第１回 1-2 講時　　医療機関における事業承継の特色(講師：石川敦士)
医療機関における事業承継の一般法人（事業）との違いについて解説し、その特色について理解を深める。また、現在移行を推奨されている持分なし医療法人の内容について理解することで、持分のある医療法人から持分のない医療法人へ移行することが事業承継の有効な方策であるかについて討議を行う。

第２回 3-4 講時　他人承継事例１(講師：足達正和)
第三者へのＭ＆Ａで診療所の譲渡を検討している事例を取り上げる。経営者の意思決定事項として、譲渡するのかこのまま事業を続けるのか、譲渡するとすればその相手はどのような先がよいのか、譲渡金額の評価方法はどう考えるのかを検討する。また譲渡せず事業を続けるとすれば、組織において必要な人材をどういった形で育成していくのかについて討議を行う。

第３回 5-6 講時　　親子承継事例１(講師：増田裕介)
父から子への親子承継事例を取り上げる。大学病院で研鑽をつむ子に対するスムーズな事業承継手法の検討、父の所有する医療法人出資の子への移転、事業承継後の父の生活費の確保について討議を行う。

第４回 7-8 講時　　親子承継事例２(講師：足達正和)
親から子及び他人への事業承継についての事例を取り上げる。非医師である子がいる中でスムーズに事業承継を行うために苦心した経緯、当該ケースにおける退職金の支給に関する実務的な検討課題、出資金の評価に関して討議を行う。

第５回 9-10 講時　　医師が行う介護事業における他人承継（他人承継２)(講師：石川敦士)
介護事業については医療機関のみならず事業の種類によっては一般法人でも行うことが可能である。医師が手がけた介護事業の承継について大規模な一般法人への譲渡を行ったケースを取り上げる。Ｍ＆Ａにおけるシナジー効果について学習しその効果が期待できる相手先について検討する。譲渡のスキームの違いにおけるメリットデメリットについても検討する。

第６回 11-12 講時　①他人承継事例３②個人開業医が事業承継する場合の優遇税制(講師：増田裕介)
① 持分あり医療法人の理事長が診療所の不動産も所有している場合の第三者承継については、出資持分の譲渡と不動産の譲渡を行うことになるが、その留意点について検討を行う
② 個人開業医が事業承継する場合の優遇税制として、個人版事業承継税制と小規模宅地の特例があるが、両制度の比較検討及び個人版事業承継税制を医業で適用する場合の注意点について解説を行う

第７回 13-14 講時　　①医療機関承継をとりまく環境　（講師：足達正和)
① 最新の医療事業承継の実情、相場・市場規模やネットワークについて
② 後継者がおらず、第三者承継もできない場合は廃業となる。ここでは、廃業までの一連の流れと注意点、及び事業承継する場合との比較を行う。
③ クリニックの出口戦略

■授業方法

授業前半では、ケースについて解説を行うとともに、ケースに基づいた講義を中心に基本的な理論を解説します。（講義途中でもディスカッションを挟む可能性あり）
授業後半では、ケースごとの検討課題を設定しディスカッションを行います。

■参考文献＜著者『タイトル』出版社、出版年＞

「持分なし医療法人」への移行に関する手引書 28 年 9 月改訂版(厚生労働省)　以下の PDF を参照してください。
https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000179326.pdf

■成績評価の基準と評価方法

成績評価の基準は、クリニックの事業承継についての手法、(医療機関特有の) 検討すべき事項について理解をしていることとし、討議への積極的な参加と数回のレポート提出によって評価します。

■準備学習等についての具体的な指示および他の科目との関連

第２回第５回はケーススタディを用意しますので、目を通してから講義に臨んでください。

※　授業計画は、授業の順番や内容が若干変更になることがありますので予めご了承ください。